

平成 30 年度霞台厚生施設組合議会第 2 回定例会発言通告一覧

【一般質問】

順	氏 名	質 問 事 項	答弁を求める者
1	櫻 井 茂	<p>1 新広域ごみ処理施設稼働に向けた霞台厚生施設組合の職員の確保について</p> <p>平成 33 年 4 月から新広域ごみ処理施設が本格的に稼働します。平成 33 年 4 月時点の霞台厚生施設組合職員は 3 名、新治広域事務組合は 15 名、茨城・美野里環境組合は 7 名。合計で 25 名が在籍予定です。一方、新ごみ広域処理施設の稼働に必要な職員数は 15 名との説明があり、10 名の余剰人員が想定されるところです。こうした点を踏まえて質問いたします。</p> <p>(1) 一部事務組合職員は構成市町がその身分を引き受けるとのことですが、これは、3 組合職員は一旦、構成市町が職員として身分を引き受け、構成市町から霞台厚生施設組合に必要人数の職員を派遣し、新広域ごみ処理施設の運営稼働を行うという事によるのでしょうか伺います。</p> <p>(2) 新広域ごみ処理施設配置予定職員 15 名の選定と年齢構成、職責の配分について、どのような協議が行われているのか伺います。</p> <p>2 霞台厚生施設組合の運営する地域還元施設の考え方について</p> <p>地域還元施設については、かつては技術的に未熟な点もあり、環境衛生面等において施設を設置する地域の方々に負担をかけるなどしたことから、施設の特性を生かした地域還元施設整備が配慮されてきました。霞台厚生施設組合では、白雲荘という温浴施設の運営をしてきましたが、新広域ごみ処理施設建設の用地確保の観点から、取り壊しとなっています。</p> <p>新広域ごみ処理施設は、ごみ処理の広域化と新技術の導入、民間活力の導入によって大幅なコストダウンを図り、構成市町の財政負担を減らすことを目的の一つとしています。こうした点も踏まえ質問いたします。</p> <p>(1) 新たな地域還元施設、白雲荘の建設に向けた取組として、用地選定や規模等についてどのような協議・検討が進められているのか伺います。</p> <p>(2) 新広域ごみ処理施設稼働後の霞台厚生施設組合の運営する地域還元施設は新たに建設する白雲荘 1 か所となるのか伺います。</p>	正副管理者
2	小 松 豊 正	<p>1 新広域ごみ処理施設の建設費用について</p> <p>(1) 中間置場整備工事費、既存環境センター解体工事費等を含めて建設費総額と財源はどうなるのか。</p> <p>(2) 将来の支出総額が不透明のまま、最終的な住民負担がどうなるのか明らかにしないで工事がおこなわれているのか。</p> <p>2 マテリアルリサイクル施設の建設費について</p> <p>(1) 当初の 22 億円から約 40 億円になったと推定できるが、その理由はなにか。</p> <p>(2) マテリアルリサイクル施設の建設費の基準はなにか。</p> <p>(3) 全国的な例から、妥当な価格か。</p> <p>3 3R の具体的目標と施策について</p> <p>(1) 霞台厚生施設組合としてのごみ減量化、資源化の現状と目標はどうなっているか。</p> <p>(2) 容器包装プラスチック類は可燃ごみにするのではなく、分別し資源化すべきではないか。</p> <p>(3) ごみ発電はなんでも燃やせ燃やせとなりごみの減量化資源化に反するのではないか。</p>	<p>正副管理者 担当課長</p> <p>管理者 担当課長</p> <p>正副管理者 担当課長</p>

順	氏 名	質 問 事 項	答弁を求める者
2	小 松 豊 正	4 白雲荘代替え施設の建設計画について (1) 現状はどうなっているか。 (2) これまでの白雲荘利用者で新治地方広域事務組合の「ふれあいの里」を利用した人に対する料金差額補助について、住民の要求通り実施すべきだがどうなっているか。	正副管理者 担当課長